

ため池ハザードマップ

【問い合わせ先】 交野市 農政課

ため池ハザードマップとは

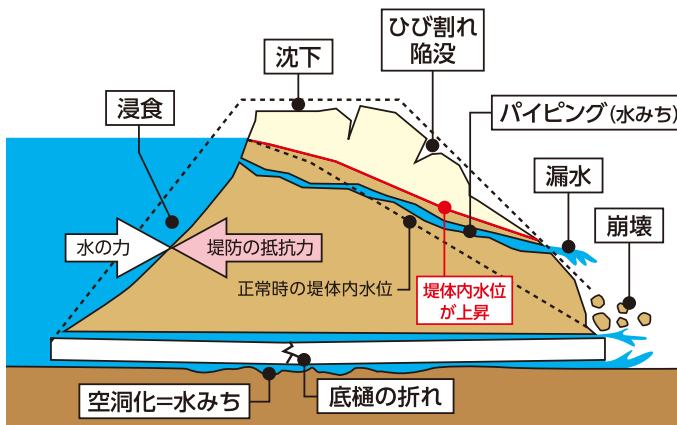
農業用ため池とは、農業用水を安定的に供給するための施設で、所有者や管理者によって日常的に水位の調節や清掃等の適切な管理を実施しています。また、交野市では、大阪府より防災重点ため池(*)として位置づけられている12ヶ所のため池の耐震性能診断を実施し、想定される最大クラスの地震発生後に直ちに堤防の決壊が起きないことを確認しています。

*防災重点ため池とは、決壊した場合の浸水区域に家屋や公共施設が存在し、人的被害を与えるおそれのあるため池をいいます。
交野市のため池ハザードマップは、12ヶ所の防災重点ため池が、満水時に地震や大雨等の影響により、**仮に決壊した場合の最悪の事態を前提として**作成しています。このマップを見て、ご自宅や通勤・通学路等、ご自身やご家族の生活圏内に浸水被害の可能性があることを事前に把握するとともに、避難場所や安全な経路を確認し、非常時の備えとしてください。

マップの注意点

- 公表されたため池は、日常から適切な管理が行われ、大雨時にも満水にならないように管理されており、現状直ちに危険であることを示すものではありません。
- マップには、浸水想定区域や避難場所等を記載していますが、浸水想定区域外のところも状況によっては浸水する可能性がありますので、十分に注意して下さい。
- 避難場所に避難する余裕がない場合等、状況によっては自宅の2階など高い所に待機する垂直避難も有効な手段です。
- ため池の貯水量が無くなれば、浸水は徐々に減少していきます。
- 浸水は徐々に広がっていくため、最大浸水深は、浸水想定区域全体で同時に発生するものではありません。
- 浸水深は瞬間での最大の深さを示しており、継続的な深さを示したものではありません。

ため池が危険なのはこんなとき!



地震時

- 堤体の陥没やひび割れが発生し、急激な漏水量の増加や漏水に濁りが生じた場合

豪雨時

- 堤体が陥没し、漏水が生じたとき
- 漏水が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合
- 排水施設が何らかの影響で作動しなくなり、流水が堤体を越えようとする場合

浸水深の色の見方



浸水想定区域

浸水した場合に想定される水深

- 5.0m～10.0m未満
- 3.0m～5.0m未満
- 0.5m～3.0m未満
- 0.5m未満

歩行困難度

歩行困難・歩行不可

はん濫水到達想定時間の目安

5分

妙音池

0 200 400m 1:10,000

